

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 7 月 10 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 063-8555
	札幌市西区二十四軒四条1丁目
	TOPPAN株式会社 北海道事業部
	執行役員事業部長 我妻 康

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	323		人	原油換算した	2355.6		k l
	使用床面積	23890		m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		35	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC	
		5330 t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	
	非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃		
	t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
【報告期間】
2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
電力の消費量抑制を中心とした省エネルギー	1.35	1	1.28	5	○	1.50	▲ 11	×			
	kW/千枚通	%	kW/千枚通	%		kW/千枚通	%				
生産系故紙を中心とした廃棄物の削減とリサイクル率の維持向上	12.42	1	11.91	4	○	12.14	2	○			
	%	%	%	%		%	%				
化学物質の適正管理 インキ削減率の維持	9.7	0	9.89	▲ 2	○	10.59	▲ 9	○			
	%	%	%	%		%	%				
インキドラム缶の適正管理	0		0	-	-	0	-	-			
	件	%	件	%		件	%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
電力の消費量抑制を中心とした省エネルギー	×	EHPの更新、照明のLED化、徹底したエア漏れ削減等の改善をしたが、デジタル化による商業印刷の減少と猛暑による空調負荷増で悪化
生産系故紙を中心とした廃棄物の削減とリサイクル率の維持向上	○	印刷機刷出し損紙・異常損紙削減の取り組みによる効果
化学物質の適正管理 インキ削減率の維持	○	仕事量減によりインキ量削減と印刷機刷出し損紙改善効果
インキドラム缶の適正管理	-	漏洩事故ゼロ、ISO14001による訓練の実施